

\*\*\*\*\*  
2015 年度 第 1 回 音環境運営委員会 議事録記録：平光  
\*\*\*\*\*

- A. 日時 2015 年 6 月 4 日（木）17 時 00 分～19 時 15 分
- B. 場所 建築学会会議室
- C. 出席者 佐久間哲哉（主査），稲留康一，井上勝夫，大嶋拓也，岡野利行，川井敬二，古賀貴士，坂本慎一，佐藤 洋，杉江 聡，田中 学，田端 淳，中澤真司，濱田幸雄，羽入 敏樹，岩本 毅（幹事），平光厚雄（幹事）
- 欠席者 佐藤史明（敬称略）

## D. 提出資料

2015 年度第 1 回音環境運営委員会議事次第

No. 1-0 2014 年度第 4 回音環境運営委員会議事録（案）

No. 1-1 2015 年度第 1 回環境工学本委員会資料

No. 1-2 「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」に対する査読意見

## E. 議事記録

## 1. 主査挨拶，自己紹介

- ・ 新体制となり，主査の挨拶，自己紹介が行われた。

## 2. 前回議事録の確認（資料 No. 1-0）

- ・ 修正事項 1：3. (1)・改定に関する補足報告「，企画刊行運営委が担当」→「，企画刊行委が確認し，環境工学本委員会に報告」
- ・ 修正事項 2：4. ①「勉強会を 6 回開催した。」→「勉強会を開催した。」
- ・ 上記修正の上，承認された。

## 3. 環境工学本委員会の報告（資料 No. 4-1）

## (1) 2015 年度 環境工学本委員会 委員名簿

- ・ 第 1 幹事から第 3 幹事まで選出された。
- ・ 菊田先生（北海道大）がメルマガ担当。
- ・ 企画刊行運営委主査は，田辺先生から村上先生に変更。

## (2) 2014 年度調査研究委員会 決算状況：環境工学本委員会は 72%の消化率。

## (3) 2016 年度日本建築学会大会（九州）：来年度の大会は，8/24（水）～/26（金）に福岡大学で開催予定。

## (4) 2014 年度 鹿島学術振興財団研究助成援助：環境工学からは選出なし。

## (5) 2015 年度 竹中育英会建築研究助成応募状況：環境工学からは 17 件の応募。

## (6) 大会関連

- ・ 大会学術講演会・建築デザイン発表会発表題数：2015 年度は，環境工学は微減，1996 年からみると，年々増加傾向。
- ・ オーガナイズドセッション：音環境の「室内音場の先進的な測定・解析・評価」は応募数，採択数および投稿数は 3 件。件数は少なかったが，関連したセッションを並べている。
- ・ 開始時刻：ラッシュを考慮し，開始時間を例年より 30 分遅らせて実施。（AM：9:30～13:00，PM：14:00～17:00）

- ・ 発表：連報についても、発表時間を6分に変更。質疑討論は、セッションごとにまとめて行う。
  - ・ 建築デザイン発表および学術講演の両方で発表が可能となった。重複した場合は、学術講演を優先する。
  - ・ 2015年日本建築学会賞（論文）受賞者記念講演：環境工学から大岡先生と萩島先生が、大会2日目に講演を行う。
  - ・ 非公式行事等の予定について：大会期間中に非公式行事等を予定している場合は、7/3までに事務局担当者まで申込書を提出。
  - ・ 若手優秀発表：環境工学からは全ての運営委で実施。対象は、発表登録時に原則として29歳以下。顕彰数は、10件のうち1件程度。音環境は、プレゼンテーションと研究内容を総合的に評価。（プレゼンテーションを重視）
  - ・ 研究協議会：「アジア蒸暑地域に映る環境工学の未来」。大会2日目に実施。
  - ・ 研究懇談会：「今後の環境工学を担う若手研究者－私の研究スタイル Part II－」。音環境から、平栗先生が発表。大会1日目に実施するため、参加者が少ない。開催方法等を検討する。
  - ・ 環境工学懇親会：大会2日目に、大学食堂で開催。
- (7) 東日本大震災第二次提言：音環境からはなし。（環境工学の担当が原発だったため）
- (8) 委員会等の運営に関する申し合わせ：オンラインストレージやE-mail等ペーパーレス化するように、2/17に改正。
- (9) AIJES 総則：2/17に改訂。
- (10) 制定から5年を経過したAIJES
- ・ 2件の規格の改訂、確認、廃止の検討依頼があった。（音環境はなし）
  - ・ 学校AIJESは、改訂を検討中であるが、5年経過時の対応としては、確認済みに相当する。
  - ・ 音声伝送AIJESは、来年度、検討依頼の予定。
- (11) 催し物
- ・ シンポジウム「都市・建築空間における音声伝送性能評価に関する最新の動向」は3/2に開催した。
  - ・ 第75回音シンポジウム「保育のための音環境－音から考える保育空間の質と環境整備指針－」は7/28に建築会館ホールで開催予定。
  - ・ 環境心理生理運営委主催の催し物：音環境から、9/7チュートリアルに川井先生、10/10シンポジウムに土田先生、佐藤（逸）先生の発表。
- (12) 環境工学委員会 公募委員選定結果：音響数値解析小委は3名募集に対し4名の応募。（3名を選定）集合住宅の遮音性能水準検討小委は2名の募集に対し1名の応募。
- (13) 環境工学本委員会メールマガジン運用ルール：6/4に改正。毎月10日、必要に応じて25日の配信日。例外的、幹事団での審議の上、上記以外の配信も可。添付ファイルの送信は行わない。
- (14) 予算：100%消化すること。

#### 4. 審議事項：「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」について（資料1-2）

- ・ メールで依頼された原稿査読に対して委員3名から意見が提出され、内容が紹介された。
- ・ まえがき等の修正が必要との指摘を受けて、佐久間主査が意見提出の委員および刊行小委員会の意見を聴取した上で、原稿の修正案を8月末までにまとめる作業方針が提案され、了承された。
- ・ 「考え方」の出版にあたり、一般書籍と同様に企画書の提出が必要。早急に企画書を作成、音運営委のメール承認を経て企画刊行運営委に提出し、9/29の本委員会で審議する。（出版物の完成が間に合えば、企

画書と同時に出版の審議が可能であることを事務局に確認済み)

- ・ 意見書、要望書に対しては、9月の本委員会後に正式に返答する。

#### 4. 各小委員会・WGの活動報告（資料4-2）

##### ① 固体音小委員会（稲留主査）

- ・ 前回5/11，次回7/27．今後2年間の活動内容について議論した。
- ・ 鉄道固体音測定法検討WGは，固体音全般に関するクレームや対策事例をまとめている。

##### ② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（濱田主査）

- ・ 次回6/6．室内騒音の発生頻度，鉄道騒音の評価方法について検討する。

##### ③ 建築音響測定法小委員会（杉江主査）

- ・ 前回5/14，次回7/1．音響インテンシティ法を用いたフランキングの測定，PUセンサの校正法，音響エネルギー密度の測定方法の検討を行う．遮音性能の単一評価量について，測定法上の問題点も検討する。

##### ④ 室内音響小委員会（川井WG主査）

- ・ 子どものための音環境WGでは7/28にシンポジウムを開催予定．奮って参加して欲しい。
- ・ 横浜市より，保育環境整備に関するパンフレット作成への協力依頼があったが，諸般の事情により今回は見送らせてほしいとの連絡があった。

##### ⑤ 音響数値解析小委員会（大島主査）

- ・ 前回3/18．材の音響インピーダンス比の測定，ベンチマーク問題についても議論を行っている．大会に原稿を投稿した。

##### ⑥ 音環境規準検討小委員会（古賀主査）

- ・ 前回5/26，次回7/30．複合建物の基準，設計指針について議論した．また，公共空間の規準について，目次案についても検討する。

##### ⑦ 企画・広報WG（中澤主査）

- ・ 前回4/13，次回6/12．梗概検索システム「建音検索」のデータ追加の作業を行う．建築音響関連の既刊物を対象とした評価シートについて意見交換を行う。

#### 5. 関連学協会からの情報

##### (1) 建築音響研究会

- ・ 6/19 徳山，7/21・/22 神戸，8/6 東京，9月休会。

##### (2) 騒音振動研究会

- ・ 6/19 徳山，7/31 大阪，8/28 横浜，9月休会，10/16 青森。

#### 6. その他

- ・ 過去の催し物を音環境運営委HPにアップしている．第41回シンポジウム以前の情報を整備したい。
- ・ 日本騒音制御工学会秋季研究発表会に奮って発表してほしい。

次回以降予定：9/29（火），11/19（木），2/22（月）

以上